

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	校外研修3	
科目基礎情報					
開設学科	AIシステム科	コース名	一	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	実習
教科書/教材	資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員			実務経験の有無・職種		
学習目的					
IT業界は日々成長を繰り返しており、入学時に最新技術であったものが、卒業時点では陳腐化していることも起こる。そのため、自身の就きたい仕事について常にアップデートしながら必要となる追加技術を調べ、目標に向かって努力をしていく必要がある。 IT関連の展示会や講習会に参加して最先端のIT企業が提供しているサービスや製品について知り、自身の目標を更新していく。また、就職時に必要となるコミュニケーション能力についても企業様への質問を通して学んでいく。					
到達目標					
イベント参加前に、ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。 最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。					
教育方法等					
授業概要	校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではこういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。				
注意点	研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回のガイダンスで説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	0%			
授業計画（1回～5回） 1回（6）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	事前調査		展示会や講演会のテーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる		
2回	事前調査報告		GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う		
3回	展示会・講演会参加		GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う		
4回	展示会・講演会結果報告		展示会・講演会の内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる		
5回	展示会・講演会結果報告・まとめ		結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる		